



こだま

第189号

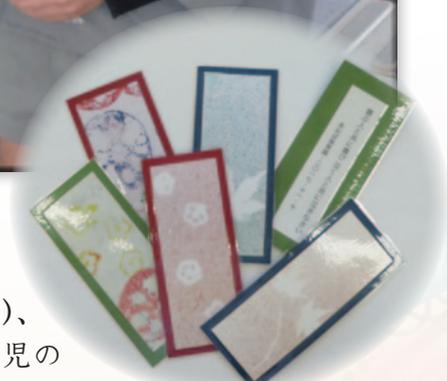
2018年1月発行

社会福祉法人
小矢部市社会福祉協議会

〒932-0821
富山県小矢部市鷺島15番地
TEL (0766) 67-8611
FAX (0766) 67-4896
<http://www.oyabe.or.jp>



野菜や果物を届けてください♪



もくじ

石動青葉保育園寄付.....	1
新年のご挨拶、善意作品頒布会報告、共同募金寄付 ...	2
ファミリー・サポート・センター研修会、対面朗読、音訳ボランティア養成講座閉講式.....	3
ふれあい体験教室、ボランティア連絡協議会だより、やんぼらクラブ通信.....	4
生活福祉資金貸付制度.....	5
地区社協紹介だより【若林地区社会福祉協議会】.....	6
福祉作文【中学生の部】、善意の窓.....	7
小矢部市民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協合同研修会、介護ボランティア養成講座、つぶやき.....	8

昨年11月10日(金)、石動青葉保育園の園児の皆さんより小矢部善意銀行へたくさんの野菜や果物、手作りカードのご寄付をいただきました。

毎年、「収穫感謝日」に野菜や果物を持ち寄り、秋の豊かな実りを喜び、神様の恵みに感謝をこめて礼拝した後、福祉のためにとご寄付いただいているものです。

ご寄付いただいた野菜や果物は、市内の福祉施設へお届けし、利用者の方々に美味しく召し上がっていただきました。



新年のご挨拶

小矢部市社会福祉協議会 会長 日光 久悦

皆様には、希望に満ちた輝かしい平成30年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、近年の少子高齢化の急速な進行とともに、経済格差の拡大も重なり、社会的孤立や生活困窮など地域における福祉課題は多様化、深刻化の一途をたどっております。

このような中、市民一人ひとりが「助け合い」の精神を自ら行動に移すことが求められており、地域で支え合うことの大切さを今一度確認し、ともに支え合う地域福祉社会の実現を目指していかなければなりません。

本協議会といたしましても、皆様から一層の信頼をいただき、本年が更なる飛躍の年となりますよう、役職員が一体となって、「第五次小矢部市地域福祉活動計画」の基本理念である「みんなで支えあい、助けあう 笑顔のあふれるまちづくり」を進めてまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、より良き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「赤い羽根共同募金」のご寄付

昨年12月19日（火）、富山県立石動高等学校の生徒さんが、小矢部市共同募金委員会に「赤い羽根共同募金」を届けてくださいました。

「赤い羽根共同募金運動」の実施期間中に、各クラスで集めた募金と、ボランティアバンクに登録している生徒の皆さんが12月14日（木）にピアゴ小矢部店で行った街頭募金で集めた募金をご持参くださいました。

お預かりした募金は、富山県共同募金会を通じ、多くの施設や団体の活動等へ助成されます。また、災害支援にも使われます。皆さんの『やさしさ』をありがとうございました。



小矢部市善意作品頒布会のご報告

昨年11月17日（金）～11月20日（月）、市総合保健福祉センターにおいて小矢部市善意作品頒布会を開催しました。出品にご協力いただきました先生方、ご来場いただきました皆さま、そして運営にご協力いただきました地区社会福祉協議会の皆さま、大変ありがとうございました。多くの皆さまにご入札いただきました結果、876,400円の売上げがございました。

この売上金は、地区社会福祉協議会の福祉事業に役立てられます。ご協力いただきました皆様に深く感謝し、心よりお礼を申し上げます。

小矢部善意銀行・小矢部市社会福祉協議会



小矢部市ファミリー・サポート・センター研修会

昨年12月5日（火）、市総合保健福祉センターにおいて、小矢部市ファミリー・サポート・センター研修会が開催されました。

富山福祉短期大学 看護学科 学科長・教授 北濱まさみ氏を講師にお招きし、『こどもを見守る～お母さん応援隊～』と題してお話いただきました。「こどもの健康と安全のチェックポイント」として、赤ちゃんの体調のサインの見分け方と対処方法やお家の中の危険ポイントをイラストなどを交えてわかりやすくお話いただき、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

また、誤飲・誤嚥の際の異物除去法を教えていただき、参加者全員が体験しました。



【講師】 富山福祉短期大学
看護学科 北濱まさみ教授



～異物除去法～ 肩甲骨の所を
少し強めに叩きましょう！

音訳ボランティア養成講座 閉講式

昨年12月9日（土）、音訳ボランティア養成講座の閉講式が行われました。

養成講座では、視覚障がいへの理解を深めるとともに、音訳に大切なピッチ（音の高低）、ピーク（音の落差）、スピード（読みの速さ）の基礎技術習得に励みました。

修了証を受け取り、講師の方からの「即戦力になれるような方ばかりです。あとは経験です。」という講評に、今後の活動へ意欲を高めていました。



マイクに向かうと、
緊張しまあね。



対面朗読会 を開催しました

昨年11月23日（木）、市総合保健福祉センターにおいて、音訳ボランティア「ニューカナリヤサークル」と市視覚障害者協会「あかつきの会」との対面朗読会が開催されました。

ニューカナリヤサークルでは、年2回対面朗読会を開催し、あかつきの会の会員の方からリクエストのあった本や、サークルメンバーのおすすめの本を朗読しています。

参加したあかつきの会の会員の方は、本を聴くことを楽しんでいました。また、お互いに感想を言い合ったり、会話を楽しんだりと笑い声の聞こえる場面もあり、楽しいひと時を過ごしました。



2年かけて、同じ本を読んでもらっています。もうすぐ、終わりそうです。

ふれあい体験教室 ～フォンダンショコラに挑戦！～ 参加者募集！

障がいのある方との体験活動をとあして、お互いの理解や交流を深めることを目的とした「ふれあい体験教室」を開催します。

日時 平成30年1月31日（水）13:00～15:30

場所 市総合保健福祉センター

講師 菓子工房メルヘンの皆さん

持ち物 エプロン、三角巾



【申込み・問合せ】

小矢部市社会福祉協議会

TEL 67-8611

申込み締切：平成30年1月26日（金）

ボランティア連絡協議会だより

～平成29年度 小矢部市ボランティア研修会のご案内～

本年度の視察研修会を下記の日程にて開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成30年3月5日（月）9:30～16:00

場所：南砺市（城端・福光）方面

※どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお問合せください。

ボランティア連絡協議会に加入しませんか。

ボランティア連絡協議会では、加入していただけるボランティア団体や個人ボランティアを募集しています。会員同士の交流や情報提供などを通して横のつながりを作り、ボランティア活動の推進や発展を目指して活動しています。

【申込み・問合せ】 小矢部市ボランティアセンター TEL 67-8611

やんぼらクラブ通信

～「楽しくボランティア活動しよう！」をモットーに活動中です～

●国際交流をしよう!!

12月27日（水）、国際交流員のシャーホフ・スタニスラフ氏（ロシア出身）を招いて、海外のクリスマスの過ごし方や生活習慣・文化の違いなどについて学びました。また、簡単にできるテーブルゲームも教えてもらい楽しく国際交流を図りました。



【入会申込み・問合せ】

小矢部市ボランティアセンター

TEL 67-8611

◆マメ知識◆
ロシアのクリスマスは
1月7日だそうです。

会員随時
募集中!!

生活福祉資金貸付制度のご案内

生活福祉資金貸付制度は低所得世帯、障害者または高齢者の属する世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度です。

総合支援資金

【貸付対象】

失業等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援（就労支援、家計指導等）と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付けを行うことにより自立が見込まれる世帯。



福祉資金・教育支援資金

【貸付対象】

①低所得世帯

資金の貸付けにあわせて必要な支援を受けることにより独立自活できると認められる世帯であって、必要な資金の融通を他から受けることが困難な世帯（所得制限あり）。

②障害者世帯

身体障害者手帳などの交付を受けている者の属する障害者世帯。

③高齢者世帯

日常生活上療養または介護を要する65歳以上の高齢者の属する世帯。

※この貸付制度は単なる金銭の貸付けではなく、借入相談から申し込み、貸付け、償還中において民生委員児童委員の相談支援や法に基づく自立相談支援事業等による支援を受けることを前提としています。

※他の債務の返済資金に充当する場合はお貸しできません。

【問合せ】 小矢部市社会福祉協議会 TEL 67-8611



地区社協紹介だより

若林地区社会福祉協議会を紹介します

- 一人暮らし高齢者世帯を地域で支えています。
一人暮らし高齢者世帯20世帯を対象に見守りや声かけなどのケアネット活動を行っています。また、寿永荘での招待会、手作り弁当や生活用品のお届け、ふれあいいいききサロンへの送迎、若林っ子まとい隊（若林保育所園児で構成）が訪問して「火の用心」を呼びかけるなどの活動を行っています。
- ふれあいいいききサロン活動が定着しています。
若林公民館や寿永荘で年間5回開催しています。そのほか各地区（4地区）の公民館・集会所でも集落ごとのミニサロンを開催しています。（平成28年度：全体で32回開催、延べ参加人数約950名）

主な活動内容

- ケアネット活動
- ふれあいいいききサロン
- 住民福祉懇談会
- 三世代交流会
- 一人暮らし高齢者等招待会
- 一人暮らし高齢者等への手作り弁当や生活用品お届け
- 在宅介護高齢者友愛訪問
- 災害時要援護者一斉安否確認
- ふくしだより発行
- 大谷小学校児童通学見守り（老人クラブ連合会と共同）



い
き
い
き
サ
ロ
ン
若林保育所園児と交流



住
民
福
祉
懇
談
会



グ
ル
ー
プ
討
論



福祉事業に食改さんの協力は欠かせません



赤い羽根
共同募金事業

一人暮らし高齢者等への
手作り弁当や生活用品のお届け



三世代交流会



一人暮らし高齢者等招待会



福祉作文を紹介します

小・中・高校生の最優秀作品を3回シリーズで掲載していきます。

中学生の部

★最優秀★

現実、夢、そして笑顔 ☺

津沢中学校三年 沼田 亜優楓

私達の住んでいる日本では、少子高齢化が進んでいます。私の母は介護福祉士です。

介護福祉士だから分かることですが、介護する側の人が減ってきているのが現実で、いろいろな知り合いが集まる場でも時間をもらって募集するほど、人手が不足して大変だそうです。介護する側には六十五歳以上の方も多く、もう少しで介護される側になる年齢の方まで働いているそうです。

なぜ、介護職員はこんなにも減ってきているのでしょうか。多分世間の人々の介護に対するイメージが、大変そう、汚い等のマイナスな面ばかりでとらえられているからだと思います。私も最初は、そんなイメージでした。しかし、ボランティア活動に参加してトイレでズボン上げを手伝ってあげるなど、利用者の方

に「ありがとう。助かった。」と言われると、やって良かったな。次もがんばろう。という気持ちになり、介護が楽しくなりました。

母は、よく仕事が終わっても家で、入所者の方々に楽しんでもらうためのレクリエーションを何にしようか考えたり、料理イベント、その日の出来事を書いたりと毎日夜おそくまでがんばっています。でも、利用者の方々の笑顔を思い浮かべると、やる気が出るそうです。いつも利用者の方々に励まされることが多く、うれしくて笑顔をもたらしていると言っています。

母の実家には高齢の曾祖母がいます。曾祖母は母の働いている病院に入院しています。入院する前はよくケン力をしていて笑顔がみられず、いつも怒ってばかりいました。しかし、入院してからは、穏やかで楽しそうにいつも笑っています。ずっと家にいるよりも施設に入って介護を受ける方が本人にとっても家族にとっても幸せで、楽だと思えます。そして、家族よりも笑顔に出来る介護士の仕事はすばらしいなと思います。

だから私は、一人でも介護士が多くなるように、福祉の勉強をがんばって、将来は介護福祉士として働き、利用する方々を笑顔にさせ続けたいと思います。



善意の窓

(順不同・敬称略)

(平成二十九年十月十八日)

平成二十九年十二月十七日受付分)

◇一般の福祉事業へ

《金員預託》

- ・ 小矢部市老人生きがいセンター 木工芸部 五、〇〇〇円
- ・ 小矢部市農業組織協議会 水稲部会 一八、八三三元
- ・ 屋敷 建次 一五、〇七七円

◇指定預託

《金員預託》

- ・ 小矢部市連合婦人会 三〇、〇〇〇円

《物品預託》

- ・ 匿名
- ・ 石動青葉保育園
- ・ ピアゴ小矢部店
- ・ 小矢部市連合婦人会



小矢部市連合婦人会 (愛の一品運動)

平成29年度 第2回

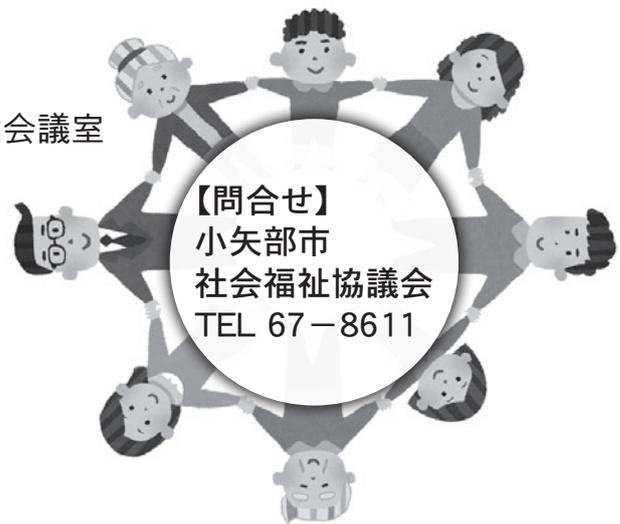
小矢部市民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協合同研修会 を開催します

日時 平成30年2月17日（土）13:30～

会場 市総合保健福祉センター 3階 大会議室

演題 「地域のつながりづくり
～個別支援について～（仮）」

講師 富山国際大学 子ども育成学部
教授 村上 満 氏



介護ボランティア養成講座 受講者募集!!

日時 平成30年2月23日（金）9:00～13:00

場所 特別養護老人ホーム福寿園「地域交流ホール」

内容 ボランティアの役割や知識について
高齢者、認知症の特性及び接し方について
車いす等操作、ボランティア体験等

受講料 無料（昼食付）

募集人数 15名程度



平成30年2月16日（金）
までにお申込みください。

【申込み・問合せ】

特別養護老人ホーム福寿園
南砺市松原678-1
TEL (0763) 22-3556

または

小矢部市社会福祉協議会
小矢部市鷺島15
TEL 67-8611

つぶやき

今年の干支は、私の大好きな戌年です。“犬も歩けば棒に当る”ということわざがありますね。「でしゃばると思わぬ災難にあう」という意味でしたが、現在では「何かをしているうちに思いがけない好運がある」という意味で使われています。わたしも好運に出会えるように、いろんな事に挑戦する年にしたいと思います。

